

令和2年度 第3回津別町地域公共交通活性化協議会 会議録

【1】日 時 令和2年9月11日（金） 14時30分～16時00分

【2】場 所 津別町町民会館 大ホール

- 【3】会議次第
- 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 課題設定から施策や目標値の設定について
 - (2) 今後のスケジュールについて
 - (3) その他
 - 3 閉会

【4】出席者

(1) 委員

| No. | 所 属 | 役 職 | 氏 名 |
|-----|--------------------|-----------|--------|
| 1 | 北海道運輸局北見運輸支局 | 首席運輸企画専門官 | 久保田 一好 |
| 2 | オホーツク総合振興局地域政策課 | 主幹 | 高橋 央明 |
| 3 | 有限会社津別ハイヤー | 代表取締役 | 鈴木 克典 |
| 4 | 網走開発建設部北見道路事務所 | 所長 | 小谷内 史義 |
| 5 | 網走建設管理部事業課 | 課長 | 紺屋 昌義 |
| 6 | 北海道北見方面本部美幌警察署 | 地域・交通課長 | 大谷 俊也 |
| 7 | 津別町商工会 | 経営指導員 | 今野 裕一 |
| 8 | 自治会女性部連絡協議会 | 副会長 | 栗田 綾子 |
| 9 | 津別町PTA連合会 | 会長 | 福井 隆雅 |
| 10 | 一般社会福祉法人津別町社会福祉協議会 | 事務局次長 | 門脇 隆司 |
| 11 | NPO法人まちづくり支援センター | 代表理事 | 為国 孝敏 |
| 12 | 株式会社津別町振興公社 | 課長 | 安藤 哲也 |
| 13 | 私鉄総連北見バス支部 | 執行委員長 | 藤原 義之 |
| 14 | 津別町役場 | 副町長 | 伊藤 泰広 |
| 15 | 津別町役場 | 保健福祉課長 | 小野 淳子 |
| 16 | 津別町役場 | 産業振興課長 | 小泉 政敏 |
| 17 | 津別町役場 | 住民企画課長 | 森井 研児 |
| 18 | 津別町役場 | 生涯学習課長 | 千葉 誠 |

【5】欠席者

| No. | 所 属 | 役 職 | 氏 名 |
|-----|-------------|--------|-------|
| 1 | 北海道北見バス株式会社 | 自動車部次長 | 佐々木 淳 |

【6】事務局

| No. | 所 属 | 役 職 | 氏 名 |
|-----|-------|--------|-------|
| 1 | 津別町役場 | 課長 | 石川 勝己 |
| | 津別町役場 | 課長補佐 | 斉藤 尚幸 |
| | 津別町役場 | 道路河川係長 | 安瀬 雅祥 |
| | 津別町役場 | 道路河川係 | 長瀬 昌志 |

【7】会議の経過

1. 開会（14：30～）

- ・会長挨拶により開会
- ・出席委員報告（18名 うち1名遅刻出席）

2 議事

（1）課題設定から施策や目標値の方向性について

【概要説明】

事務局石川課長より資料を基に説明

【意見交換】

※課題設定について

（各委員より）

課題設定は前回の意見交換内容も踏まえており、概ねOKと思われる。

住民ニーズを的確に反映させるとともに、巡回ワゴンの取り組みも周知が完全ではなかったと思うため、情報を全町民に行き渡らせる工夫を検討すべき。（公共交通に限らないが）

広報紙が全町民への情報ツールであるが、口コミも情報伝達の効果がある。

周知方法の検討は施策に組み込むべき。

巡回ワゴンの実験運行は、自治会長からの情報がきっかけだった。

情報が広がっていなかったことが、利用者数にも表れているのではないか。

情報発信は、テレビなども有効であり、何らかの工夫が必要ではないか。

免許返納者の状況を踏まえた施策の検討が必要と思う。

女満別空港へは乗り継ぎで行けるが、利便性的にはとても低い。

お買い物券を取り組んでいるが、タクシーでの利用は月10枚にもなっていない状況である。

広報番組（テレビ）については、エリア限定という方法も検討すべきである。

※施策設定の方向性について

(各委員より)

情報発信の方法についての施策検討を。

ビジネスや観光の視点でも女満別空港とのアクセスは改善を図る必要がある。

美幌町との連携や協議も必要である。

町外から通う高校生には交通費補助があるが、津別から通う高校生にも補助制度があると良い。

北見市の夜の街とを結ぶ地域間バスの運行があれば良い。

バスの利用促進として、学校行事としてのバス遠足などはどうか。

北見市では老人福祉施設や学校で乗り方教室が実施されている。津別町でも開催してはどうか。

市街地から上里（温泉宿泊施設）までの路線が不十分。タクシー利用を促すしかない。

巡回ワゴンの時、時刻表の文字が見にくかった。お知らせなどの掲載個所を多くすべき。

ドア・トゥ・ドアは必須なのかもしれないが、ランプの宿の送迎バスは混んでいる。定時路線でも慣れれば利用が増える。

公共交通の利用促進に向けた意識の啓発が必要である。

公共交通のメーンターゲットには、免許返納者も含まれると考える。

お買物券（300円）は利用しやすく好評のようなので、バス・タクシー券（助成）のようなものがあると良い。

市街地居住者にとっては、巡回ワゴンは便利なものだと思う。

(2) 今後のスケジュールについて

事務局より、次回の協議会を10月28日に予定し、それまでに本日の意見を踏まえて具体的な施策などをまとめ、再度協議することを確認した。

3. 閉会